



時代は変わっても変わらないものがある

新年あけましておめでとうございます。

12月31日から1月1日へと、たった1日違うだけなのに、元日は気持ちを凜とさせてくれるものです。

令和2年の今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。メイン会場となる国立競技場も完成し、いやがおうにもオリンピック・パラリンピックに向けて気持ちが高まってきます。ところで、みなさんは覚えているでしょうか。この東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定したときに流行語になった「おもてなし」という言葉です。今年は海外から多くの方が日本を訪問され、国際交流の機会も多くなると思います。まさに、「おもてなし」の精神が問われる年とも言えます。

この「おもてなし」の対句としてAI(人工知能)をイメージする方もおられるかもしれませんが。AIが組み込まれているロボットなどは、膨大な行動パターンを記憶していて、その中から最適な行動を選んで動いているのです。このAIの能力を最大限に発揮させ、私たちの生活を快適にする社会を「Society5.0(超スマート社会)」と言います。端末に話かけると電灯をつけてくれたり、ネットショッピングで買い物をしてくれたりと、すでに私たちの身の回りで現実のものになっているものがたくさんあります。いずれは、ドローンが宅配物を指定時刻に運んでくれたり、無人バスが運行されたりといった時代になるだろうと言われています。

これから先、そんな便利な社会に変わっていくと言われていますが、その中でも変わらないものがあります。それは、「人間力」です。AIはデータの中からしか答えを見つけることができません。しかし人間は、いろいろな人との対話を通して知恵を出し合い、これまで経験をしたことがない問題(過去のデータがない問題)でも、解決への糸口を見つけ出していく力があるのです。そのためには相手を大切にする思いや自分の考えをしっかりとつことが大切になってきます。このことは、「おもてなし」を大切にする東京オリンピック・パラリンピックの精神につながるものがあるのかもしれない。



令和最初の新入生のオープンスクールを開催しました

12月6日(金)、令和2年度に中学校へ入学する小学6年生が体験入学を行いました。小学校の担任の先生に引率をされてやって来た小学6年生はどことなく緊張した表情でした。最初は図書室に集まり、校長先生から今日のオープンスクールで感じてほしいこと、中学生になるために大切にしてほしいことなどのお話を聞きました。そのあと、広島県中学校英語暗唱大会に出場する中学1年生の発表を聞きました。英語の内容は聞き取れなかったかもしれませんが、去年まで1つ上の上級生だった中学1年生がとても大きく見えたかもしれません。

体験授業では、会場を多目的室に移動して、中学1年生から正・負の数の加法についてゲームなどを通して教えてもらいました。グループに分かれての活動だったので、少し前までの緊張した表情はほぐれて、楽しく学習ができていました。

体験授業のあとは部活動体験です。あらかじめ希望を出していた部に行き、中学1・2年生から各部の活動について教えてもらったり、実際に練習をさせてもらったりしました。

中学校の雰囲気にも慣れ、4月の入学に向けて中学校生活をイメージすることができたと思います。



たのしみながら発表できた英語暗唱大会(県大会) 中学1年生の部 第3位

12月7日(土)、呉市安浦まちづくりセンターで、広島県中学校英語暗唱大会が開催され、沖野真凜さん、小坂結彩さん、藤川はるかさんが出場をし、1年生の部で3位に入賞しました。この暗唱大会に向けて夏から練習を始め、ALTの先生にも発音を指導してもらいながら練習を重ね、大会当日を迎えました。貴重な体験になりました。



めぎす安芸太田中学校像を語った生徒会選挙

12月16日(月)、生徒会選挙が行われました。安芸太田中学校生徒会では、生徒会長1名を選挙で選ぶことになっています。

今回の生徒会選挙は立候補者が横山新平くん1名ということで信任投票になりました。立会演説では、公約として「いじめのない学校」「自主性のある学校」「協力し合える学校」の3つを掲げ、めぎす安芸太田中学校像を熱く語ってくれました。

立会演説後に投票が行われ、即日開票で信任されました。



戸河内中学校と筒賀中学校が統合し誕生した安芸太田中学校ですが、統合から3年間先輩たちが創り上げてきた校風を受け継ぎ、新たな生徒会執行部として、3つの公約の実現に向けて取り組む覚悟が感じられる選挙となりました。

安芸太田町の未来を創るプロジェクト3 募金協力のお願い

安芸太田中学校では、広島県共同募金会「地域テーマ募金」を活用して、地域のボランティア活動に取り組んでいます。先日は中国新聞でも紹介していただいたところです。これまでの地域貢献活動を通して生徒たちは、ふるさと安芸太田への愛着を深め、自分たちが生まれ育った地域に貢献したいという思いを強くしてきました。これは安芸太田中学校のよき校風として根付いてきています。今年度は、この校風を継承し、さらに地域に貢献する活動のために募金のお願いをしています。各ご家庭に振り込み用紙をお届けしますのでそちらを利用して

いただくか、中学校へ直接お持ちいただいても構いません。このことについてご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

ジャンパー新調 地域で奉仕
安芸太田中生 施設清掃や行事手伝う

その日のジャンパーを着て
築石機を集める生徒

安芸太田町と周辺の安芸太田中(38人)が、校外でのボランティア活動に力を入れている。本年度は生徒がデザインしたジャンパーを新調。町内の公共施設の清掃や地域行事の運営を手伝っている。

生徒は本年度、放課後に道の駅茶亭とまち周辺の草取りや、園芸高齢者生活福祉センターで掃除に取り組んだ。11月末には地元から頼まれ、同町近くにある県天然記念物のイチヨウ庵辺で落ち葉を集めた。「しわいマラソン」の補給所。

地元の方りで遊農の清掃を担うべく、地域の住民とともに支えている。

同中は地元団体と支援協議会を設け、2017年度から県共同募金会の「地域テーマ募金」を活用。活動用のTシャツやジャンパーの作製、移動費などに充てる。今後は町社会福祉協議会が開く雪かき体験会への参加も計画する。

3年栗柄大翔君(15)は「掃除をしてきれいになる様子や『ありがとう』と声を掛けてもらえることがうれしい。地域のために役に立ちたい」と話していた。

(山田太二)

令和元年12月28日(土) 中国新聞

修学旅行に行ってきました!!

12月1日(日)～3日(火)の2泊3日で、安芸太田中学校と加計中学校の2年生が合同で東京方面に修学旅行に行きました。主な訪問先は、上野公園、東京スカイツリー、東京ディズニーランド、国会議事堂、お台場でした。

2日目は丸一日東京ディズニーランドで過ごしました。この日はあいにくの雨でしたが、来場者数が少なく、色々なアトラクションをほぼ待ち時間なく楽しむことができました。生徒の中には「ビッグサンダーマウンテン」に7回も乗った生徒もあり、添乗員さんからも「1日にビッグサンダーマウンテンに乗った世界記録かも」と驚かされていました。

その他の訪問先でも、日本の首都東京を肌身に感じる事ができました。貴重な体験と思い出をたくさんもって、みんな元気に安芸太田町へ帰ってきました。



安芸太田町人権フェスタで田楽を披露しました



12月7日(土)、川・森・文化・交流センターで行われた安芸太田町人権フェスタで、講演前のアトラクションとして、合同文化祭で田楽を発表したメンバーが出演しました。

人権フェスタに参加された多くの皆様から、温かい拍手をたくさんいただきました。

January 1月のおもな行事

7日(火) 始業式
10日(金) 百人一首大会
16日(木)～17日(金) 標準学力調査(全学年)
17日(金) 漢字検定

22日(水)～24日(金) 学年末テスト(3年生)
24日(金) 英語検定
25日(土) 立志式, 2年生 PTC
31日(金) スキー教室(1,2年生) 恐羅漢スキー場